

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市健康増進センター
2	指定管理者	公益財団法人仙台市健康福祉事業団
3	指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日
4	施設の利用状況	《利用者数》 25,682人 (前年度比 86.2%) 平成31年度 25,682人 : うち地域展開事業利用者 2,533人 平成30年度 29,778人 : うち地域展開事業利用者 2,680人 平成29年度 28,943人 : うち地域展開事業利用者 2,807人
		《事業》 生活習慣病予防や高齢者の介護予防、障害者の健康づくりの3つの事業を中心に、健康リスクを抱えた市民への専門的な健康づくりを展開 ・生活習慣病の予防 ・高齢者の介護予防 ・障害者の健康づくり ・健康度測定の実施と健康づくり支援プランの作成 ・指導者養成 ・出前講座
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 224,539千円 (201,377千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円) 《収入》 ・ 使用料収入 6,729千円 (7,654千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
		( )は前年度決算額
6	利用者の声	《実施状況》 ・ 各事業ごとに利用者アンケートを実施し、企画・運営の参考にしている。また、館内に2か所アンケート回収場所を設置し利用者の意見を集めている。いただいた意見に対して速やかに対応を協議し、改善に努めているほか、内容を館内の情報コーナーに掲示している。事業休止中は郵送による各種連絡・健康啓発に加え、電話による利用者の状況把握・支援継続に努めている。また休止に伴う料金還付作業を実施している。

## 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	生活習慣病予防、高齢者の介護予防、障害者の健康づくりを3本柱に、健康リスクを抱えた市民への専門的な健康づくり支援を積極的に行っている。健康リスクを抱える市民の他、その支援関係者も対象とした研修実施など、人材育成にも積極的に取り組んでいる。また、障害者の健康づくりの推進にあたっては、障害者分野で取り組んでいるネットワーク形成事業にも参画し、研修企画や障害者の健康情報の提供などを積極的に行っており、障害者の健康づくりの推進に寄与している点においても評価できる。	30/30
II 施設の運営管理体制	様々な健康リスクのある方が安全に安心して施設利用できるよう、安全確認や誘導、見守りなどの体制を組んで、受け入れを行っているほか、「危機管理マニュアル」「事故事例集」といった危機管理に関するマニュアルを整備し組織内での共有するなどの対応も行っている。また、「個人情報の取扱遵守事項」の全職員配布・事務室内での掲示による情報セキュリティ対策や個人情報保護の徹底など、施設の運営管理や利用者の安全・安心のための必要な対策がとられており評価できる。	24/24
III 施設・設備の維持管理	平成4年度の開設当時から使用している設備も多く、雨漏りの問題も顕在化している。特に、分電盤周辺に雨漏りが発生してきていることから、雨の都度点検を行い、必要な措置を行っている。その他、清潔の保持を徹底するなど、市民が快適で安全に、安心して利用できる施設として維持管理されている。更に、安全に運動できる室温等の環境管理に十分に留意しつつ、仙台市環境行動計画に則って節電を行っている事やごみの分別、リサイクルなどに積極的に取り組んでおり、評価できる。	24/24
IV サービスの質の向上	センターだよりの毎月発行や、市政だより、ホームページ、地元紙の活用等により、健康づくりや各種事業に関する情報を発信するほか、関係団体と共催での事業を実施するなど、健康づくりに関する啓発に積極的に取り組んでいる。また、センター利用者に対する受付関連マニュアルの整備、教室実施前後のスタッフミーティングの実施等、利用者へのサービス水準を確保するための取り組みを行っている。	28/28
V 施設固有の基準	健康リスクに対応した健康づくりの推進のために、各区で開催している障害者支援係ネットワーク会議に定期的に参加しており、幹事会のメンバーとしても役割も定着してきている。また、障害者総合支援センター、北部発達相談支援センターとの間で、より良い施設運営を図るために定例ミーティングを行っているほか、共催事業として「いず☆ちゅう健康祭」も継続開催している。その他、地域関係機関と連携した健康講座の開催も増えており、活動の幅の広がりが見られている。	7/7

### 三 評価総括

《指定管理者（仙台市健康福祉事業団）による自己評価》
<p>市民の健康づくりを支援する3事業(生活習慣病予防、高齢者の介護予防、障害者の健康づくり)を中心に管理運営を行う中、支援を広げていくため健康づくり運動サポーターを養成するとともに、各種運動教室や一般利用への活用を行い、利用が増加する障害者や高齢者の安全性確保、支援の充実に努めた。また、利用者サービスの観点から、ホームページ自動音読機能の整備、健康度測定の効率化、トレーニングマシン利用方法の分かりやすい掲示等更なる利便性向上を図った。</p> <p>施設開館から26年が経過し機械設備、電気設備等の老朽化が継続して見られ、修繕件数、金額はともに増加している。平成31年度は中央監視装置UPS交換、エレベータ運転盤の交換、冷却塔ボルトタップ調整修理等を実施した。今後も市の大規模修繕と併せ日常業務や定期点検を通じて計画的な維持、修繕を行い、施設の安全管理に努めていく。</p> <p>環境への配慮の点では、引き続き新・仙台市環境行動計画の主旨に添って、ごみ減量のための分別リサイクルの促進を徹底するとともに、入居団体とも連携しながら、状況に応じて空調温度や照度の調節を行い省エネ運営に心がけた。</p> <p>個人情報管理にあたっては、管理者からの研修を行い、職員全体の意識を高め、紙データの施錠保管や電子データの管理の徹底、セキュリティの保持、不要な情報の適切な廃棄について確認を行い、事故防止に繋げている。</p> <p>年度末から新型コロナウイルス感染症防止拡大対応によりほとんどの事業が休止となったが、自宅で出来る運動の啓発等、市と調整を行いながら、対応・対策を行った。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>指定管理者がこれまで蓄積してきた専門的な知識や経験、人材により、生活習慣病予防、高齢者の介護予防、障害者の健康づくりに関する各種事業が着実に実施されている。特に障害のある方への健康づくり支援に関しては障害特性による健康リスクに応じた支援プログラムを作成し提供することで、障害者の継続的な運動実践につながっている。また、支援関係者に対する研修や情報提供などにより、通所施設などでの活動につなげている点などが評価できる。平成31年度の利用者数25,682人のうち障害者は8,572人と全体の33%を占め、障害者の貴重な運動の場となっている。</p> <p>施設管理については、北部発達相談支援センター、障害者総合相談支援センター、乳がん検診センターなど併設施設の維持管理も確実にを行っているほか、立地上トラブルの多い駐車場利用についても、併設施設間で情報共有をし、対応策を検討、実施している。また、老朽化が進む施設の点検を専門業者にも積極的に依頼するなど、施設管理も適切に行っている。</p>	S

### 四 その他特記事項

(上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する)

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局保健衛生部健康政策課